

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和4年度分）

<県の評価等>

施設所管部名：子ども・福祉部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	みえこどもの城（松阪市立野町 1291 番地）
指定管理者の名称等	公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事長 福田 圭司
指定の期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・みえこどもの城条例第2条に規定する事業（児童の健全育成に関する内容、地域の児童館等への指導・助言等）の実施に関する業務 ・みえこどもの城の施設及び設備の利用の許可等に関する業務 ・みえこどもの城の利用料金の收受等に関する業務 ・みえこどもの城の管理施設の維持管理及び修繕に関する業務 ・上記業務のほか、知事がみえこどもの城の管理上必要と認める業務

2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R3	R4	R3	R4	
1 管理業務の実施状況	A	A			不審者対策研修など危機管理への取組や、団体受付時等のリスクマネジメントなど、管理・運営業務を適切に行い、また、施設の維持管理及び修繕等について適切に対応したことを評価する。
2 施設の利用状況	B	B			年間総利用者数は目標値に至らなかったが、令和3年度実績からは大幅な増加を見せた。また、利用者満足度は目標値を上回り、更には令和3年度実績を上回っている。コロナ禍にありながらも「新しい生活様式」に合わせた運営に努めたことを評価する。
3 成果目標及びその実績	B	B			新型コロナウイルス感染症の影響等から、年間総利用者数は目標 220,000 人に対し、218,151 人と未達成であったが、令和3年度実績からは 77,462 人と大幅な増加を見せた。また、利用者満足度は目標 80% に対し 98% を達成、児童健全育成拠点事業実施回数は目標 90 回以上に対し 100 回であった。新規事業の導入、企画・イベントの展開、誘客に関する広報など、利用者の増加に努めたことを評価する。

※「評価の項目」の県の評価：
 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 「」（空白） → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・管理業務の実施状況について、施設の管理・運営業務を適切に行っており、コロナ禍にありながら「新しい生活様式」に合わせて適切な衛生管理に努め、安全・安心な施設運営及び施設機能の効率的な活用を図ったことは、業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げているものと評価する。 ・施設の利用状況、成果目標及びその実績については、成果目標のうち、「利用者の満足度」、「児童健全育成拠点事業実施回数」は令和3年度に引き続き目標を達成しているが、「年間総利用者数」は令和3年度からは大幅増であったが、未達成であった。また、指定管理者の独自目標である「サービス提供基盤の安定度（施設完全稼働率）」は、未達成であったが、その要因はドームシアタープラネタリウム改修工事による上映中止（4月1日から4月22日）であり、当該工事がなければ目標は達成できたものとする。 <p>以上のことから、みえこどもの城の指定管理者として、適切に管理・運営をしていると判断する。みえこどもの城のさらなる魅力の向上につながるよう、引き続きこれまでに積み重ねてきた経験やノウハウを活用し、業務に取り組まれない。</p>
--------	--

<指定管理者の評価・報告書(令和4年度分)>

指定管理者の名称:公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1)管理業務の実施状況

① みえこどもの城管理・運営事業の実施に関する業務

みえこどもの城指定管理基本協定書で掲げた、基本目標の下で、みえこどもの城施設及び設備の利用に供する事業及びその他の児童健全育成等に関する業務に取り組んだ。なお、令和4年度は、特に下記の内容に留意し運営を実施した。

○ コロナ禍でのみえこどもの城の運営

利用者の安全・安心な運営（a 連絡先の記入、b サーモカメラによる自動検温、c 手指消毒、d 1日1回の施設・遊具等の消毒、e マスク着用、f ソーシャルディスタンスの確保等）を継続しつつ、「with コロナ」を踏まえた「新しい生活様式」に合わせて運営を実施した。また、4月23日のプラネタリウムリニューアルオープンに合わせて広報を強化し、利用者の新規開拓に注力するとともに、平日の団体誘客を積極的に実施した。

○ 児童健全育成拠点事業

コロナ禍でみえこどもの城への来館が難しい子どものために、みえこどもの城での体験と同等の体験ができるよう、地域のさまざまな主体（プロ講師（陶芸）、みえこどもの城ボランティアグループ）と協働し、地域に工作や遊びを広げた。

○ 地域協働大型事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、キッズおしごと広場とオレンジリボンキャンペーンは、単日の大規模な開催ではなく月間・期間イベントとして企画し、人数制限、事前申込制を導入するなど、感染防止対策を行ったうえで、実施した。

また、新たな取組として、サイエンスフェスタを月間で実施し、県内の工業高校等との連携でサイエンスの工作や体験ができるサイエンスひろばを、また、県内のスーパーサイエンスハイスクール指定校等と協力して「高校生☆プラネタリウムコンテスト」を開催し、高校生の活躍の場の提供を行った。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

施設の維持管理に必要な保守点検を的確に実施するとともに、施設設備の不具合の未然防止、早期発見、早期対応に努めることで、来館者の安全・安心及びサービス向上に係る改善等を行った。また、施設の老朽化が進む中、施設、設備等について、県に適宜報告の上、計画的な修繕・更新ができるよう、情報提供や提案に努めた。

③ 県施策への配慮に関する業務

○ 家庭の日に、プラネタリウムの無料投影や絵本の読み聞かせやさまざまな遊びを親子で楽しむ特別イベントを実施した。

○ 県内の企業・団体と連携した、子ども虐待防止の啓発事業を実施した。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

財団の情報公開実施要綱及び個人情報保護実施要綱に基づき運用を行った。

⑤ その他の業務

○ 県からの受託事業

こども消費者教育事業

お金や消費生活についての基礎知識を学ぶ。消費をめぐる物とお金の流れをわかりやすく体験する。

○ 危機管理の取組

令和4年度は、「公益財団法人三重こどもわかもの育成財団危機管理マニュアル」を職員へ周知を図るとともに、職員向けの消防訓練・避難訓練や不審者対策研修、人権に係る研修等を実施した。

○ 新型コロナウイルス感染防止対策の促進

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意して運営を実施した。

○ 職員の適切な事務処理に向けて、確認業務の見直しなど、チェック体制の充実等を実施した。

(2)施設の利用状況**① 年間総利用者数**

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
48,962	69,517	51,704	47,968	218,151
目標				220,000人

② 利用者の満足度

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
97%	97%	98%	98%	98%
目標				80%

③ 児童健全育成拠点事業実施回数

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
5	48	26	21	100
目標				90回以上

④ サービス提供基盤の安定度 (施設完全稼働率)

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
76%	100%	100%	100%	94%
目標				100%

(注) ドームシアタープラネタリウム改修工事による上映中止 4月1日~4月22日

2 利用料金の収入の実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
利用料金	2,803,000	4,557,140	2,741,340	2,386,320	12,487,800

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R3	R4		R3	R4
指定管理料	145,309,000	145,105,015	事業費	93,096,205	93,936,137
利用料金収入	4,345,940	12,487,800	管理費	58,472,973	56,224,154
その他の収入	8,047,457	9,739,098	その他の支出	6,200,000	17,326,638
合計 (a)	157,702,397	167,331,913	合計 (b)	157,769,178	167,486,929
収支差額 (a)-(b)	△66,781	△155,016	/		

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	829,200円
---------	----------

4 成果目標とその実績

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・年間総利用者数 220,000 人 ・利用者の満足度 80% ・児童健全育成拠点事業実施回数 90 回以上 ・サービス提供基盤の安定度（施設完全稼働率）100%
成果目標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年間総利用者数 218,151 人 ・利用者の満足度 98% ・児童健全育成拠点事業実施回数 100 回 ・サービス提供基盤の安定度（施設完全稼働率）94%
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ドームシアター改修工事により、施設の稼働率は目標達成には至らなかった。一方、コロナ禍において、利用者数を成果目標に近づけることができたことや満足度の高さなどから、県立の大型児童館として、機能を発揮し、事業を提供できたものとする。今後は、コロナ禍の新しい生活様式をふまえ、コロナ以前の通常運営に戻していくとともに、リニューアルオープンしたドームシアタープラネタリウムなどのみえこどもの城が持つ魅力について効果的な情報発信を行い、利用者の確保に努める。

5 管理業務に関する自己評価

評価の項目	評価		コメント
	R3	R4	
1 管理業務の実施状況	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・管理・運営業務を適切に行った。管理の瑕疵に起因する施設の休館等はなかった。 ・施設の維持管理及び修繕等について適切に対応した。
2 施設の利用状況	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍等による影響を受けつつも利用者数等を成果目標に近づけることができた。また、利用者の満足度の高さや児童健全育成拠点事業の実施回数は目標を上回っていることなどから、県立の大型児童館として、機能を発揮し、事業を提供できたものとする。
3 成果目標及びその実績	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ドームシアターの改修工事により「サービス提供基盤の安定度」は目標達成に至らなかったものの、新型コロナウイルス感染症等の影響の中、「年間総利用者数」は目標数値を概ね達成し、「利用者の満足度」及び「児童健全育成拠点事業実施回数」は目標達成ができた。

※評価の項目「1」の評価： 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 業務計画を順調に実施している。
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価： 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 当初の目標を達成している。
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>第4期みえこどもの城指定管理事業計画に基づき、安全・安心な施設運営や施設機能の効率的かつ効果的な活用を図った。また、企業、大学、団体、ボランティア等といった地域社会との協働により、子どもの成長の支援と子どもが豊かに育つ地域社会づくりを推進した。</p> <p>また、ドームシアターの改修工事等により「サービス提供基盤の安定度」は目標達成に至らなかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中、「年間総利用者数」は目標数値を概ね達成し、「利用者の満足度」及び「児童健全育成拠点事業実施回数」は目標達成ができた。</p> <p>なお、施設は築30年以上経ち、従来の定期的な保守点検や軽微な修繕では対応できない深刻な故障、大規模修繕が増えてきていることから、今後も県に情報提供を行いつつ、対応を要請していく予定である。</p> <p>安全・安心に最大限の配慮を行いながら事業等を実施するとともに、アンケート等により利用者の声を積極的に分析し、企画や施設運営に反映するなど、利用者満足度の向上に努めた。</p>
--------	---